

普及活動情勢報告（令和2年9月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

宿根性スターチスの産地化を目指す！

・・・現地検討会の開催・・・



8月21日に黒潮町の宿根性スターチス生産者ほ場で、生産者と関係機関職員ら10名が集まり、現地検討会を開催しました。宿根性スターチスは、県内に産地がなく、お互いのほ場巡回を通じた情報交換を行うことで、より良い栽培方法を探っています。

農業改良普及課は、各生産ほ場の気温や地温、生育状況の推移をグラフと写真で報告し、今後の栽培管理について説明しました。

今後も、毎月1回の現地検討会の開催により、産地化を図っていきます。

産地で取り組む黄化えそ病対策！

・・・JA大方園芸部キュウリ部会・・・



9月4日にJA大方園芸部キュウリ部会の生産者約25名とJA指導員2名が参加し、黄化えそ病対策に関する勉強会を行いました。

農業改良普及課から7月に作成した黄化えそ病対策マニュアルについて、重要なポイントを強調しつつ説明すると、相づちや質問があり、各人の技術を見直してもらうことが出来ました。

令和3園芸年度は、巡回指導を中心に対策マニュアルの実践状況を確認しながら、黄化えそ病対策を推進していきます。

ニラ出荷場での就労を開始しました！

・・・大方南部支所農福連携・・・



JA高知県幡多地区大方南部支所で、福祉事業所によるニラ出荷調製が始まりました。

9月8日に参加する管内3事業所を集めて説明会を開催し、翌9月9日から実際に就労を開始しました。皆さん慣れない作業で少し苦労していましたが、作業自体には問題はなく、丁寧にそぐりと計量結束作業ができました。

当面は、3事業所が可能な日に作業をし、改善点を明らかにしたうえで、10月からの本格稼働に向けて準備を進めていきます。

作業場がスッキリ！

・・・GAPの推進には片付けから・・・



9月9日に黒潮町早咲でキュウリ農家を対象に、GAP推進の一環として、作業場の整理整頓の支援を行いました。

整理前は、資材やゴミが無造作に放置されていたり、同じ工具が複数見つかる等、ほ場主でさえどこに何があるのかを把握出来ていない状態でした。



整理後は、ほ場主から「ものを探しやすくなった」との声が聞かれました。また、水はけが悪かった奥の作業場では、ポリフィルムを敷き上に土を被せることで、浸水を防ぎ足場が安定しました。

農業改良普及課では、今後もGAPの推進を行っていきます。

農薬の使用方法を守ろう！

・・・佐賀支所なら部会総会の開催・・・



9月10日にJA高知県佐賀支所で佐賀なら部会の生産者30名が出席し、通常総会が開催されました。

農業改良普及課からは、農薬の適正使用やGAPの取組についての啓発や収入保険の紹介を行いました。農薬の適正使用は当たり前のことですが、改めて重要性を伝えることが出来ました。

令和3園芸年度から佐賀なら部会は、品目転換や新規就農者、四万十市や宿毛市の生産者が加入して35名となるので、今後も関係機関と協力して、活発な部会活動になるよう支援していきます。

お米の勉強をしよう！

・・・具同小学校への出前授業・・・



9月11日に四万十市具同小学校で、5年生を対象に米や芋の栽培についての出前授業を行いました。具同小学校では、総合学習の一環として、毎年5年生が米や芋の栽培体験に取り組んでいます。

農業改良普及課は、稲や芋の病虫害防除などについての説明を行い、生徒からは、「稲にとって良い虫とは何か」や「田んぼの周りに網を張っているのは何故か」など、たくさん質問が出されました。

10月初旬に稲刈りを行う予定で、今後も小学生が体験を通して四万十市の農業について学習する取組を支援していきます。